

卒業の認定に関する方針

本学総合人間学科の学生に卒業を認定する、すなわち短期大学士の学位を授与するに相応しい者として身につけるべき資質を、建学の精神及び教育の目的・目標に基づき、次の4点に集約し学位授与の方針を定めている。

- ①自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断・行動できる。
- ②多様な価値観と個性を認め、偏りのないものの見方ができる。
- ③自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心を持つ。
- ④高度な専門知識と技術を有し、社会に貢献できる。

また、本学専攻科も総合人間学科と同様の内容の、次の5点に集約し修了の認定方針を定めている。

- ①自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断・行動できる。
- ②多様な価値観と個性を認め、偏りのないものの見方ができる。
- ③自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心を持つ。
- ④高度な専門知識と技術を有し、社会に貢献できる。
- ⑤学位授与機構が学士の学位にふさわしい学力を有しているかどうかの審査に合格し、学位を取得できるように努める。

そこで、各専攻においてその方針（ディプロマポリシー）が、目指す職業や職種に必要な知識や能力として、より具体的にされている。

〔こども教育専攻〕

卒業に必要な単位を修得し、専攻がめざす以下の資質を備えた学生に卒業を認め、短期大学士（こども教育学）の学位を授与する。

- ①保育者としての使命感・倫理観を身につけている。
- ②公平で偏りのないものの見方を身につけている。
- ③人と連携を図るためのコミュニケーション能力を有している。
- ④高度な専門的知識を有し、状況に応じた的確な判断をすることができる。

〔看護学専攻〕

卒業に必要な単位を修得し、専攻がめざす以下の資質を備えた学生に卒業を認め、短期大学士（看護学）の学位を授与する。

- ①豊かな人間性と人間愛、自他の人権の尊重を基盤とした価値観を持っている。
- ②多様な価値観と個性に対応するグローバルな視野と思考力を有する。
- ③コミュニケーション能力とそれに基づく協調性とリーダーシップを身につけている。
- ④確固とした基礎学力に基づいた専門的知識・技術と論理的思考力を持っている。

〔リハビリテーション学専攻〕

卒業に必要な単位を修得し、専攻がめざす以下の資質を備えた学生に卒業を認め、短期大学士（リハビリテーション学）の学位を授与する。

- ①人間に対する深い思いやりを持っている。
- ②周囲や環境に対して鋭い洞察力と広い視野を持っている。
- ③チームの一員としての協調性、連帯意識を持っている。
- ④専門的で高度な知識・技術を修得している。

〔専攻科〕

〈地域看護学専攻〉

修了に必要な単位を修得し、専攻がめざす以下の資質を備えた学生に修了を認める。

- ①地域保健活動には様々な対象者が存在し、看護で培った人間力を基盤に、その対象者の立場に立った考え方ができる
- ②人間力を磨きながら対象者が主体的に取り組めるような知識、技術、態度を修得している。

〈助産学専攻〉

修了に必要な単位を修得し、専攻がめざす以下の資質を備えた学生に修了を認める。

- ①助産師によるリプロダクティブヘルスケアは、女性の生涯を通じて家族及び地域社会におけるニーズに応え、助産活動を実践する領域であることを認識している。
- ②助産学に関する基礎的な知識、技術、態度を修得している。
- ③主体的に学習する能力や態度及び研究的な態度が身に付いている。
- ④保健、医療、福祉に貢献できる助産師を目指す姿勢がある。

〈リハビリテーション学専攻理学療法学課程〉

修了に必要な単位を修得し、専攻がめざす以下の資質を備えた学生に修了を認める。

- ①脳血管疾患、呼吸器・循環器疾患、運動器疾患の4大疾患の症例理解、療法に関する学識を実践的に学ぶ姿勢がある。
- ②リハビリテーションの現場で症例に応じた確かな対応を取ることができる。
- ③高度な臨床スキルと臨床研究の視点を備えている。

〈リハビリテーション学専攻作業療法学課程〉

修了に必要な単位を修得し、専攻がめざす以下の資質を備えた学生に修了を認める。

- ①発達過程、精神機能、身体機能、高齢期の4領域の症例理解、療法に関する学識を実践的に学ぶ姿勢がある。

- ②リハビリテーションの現場で症例に応じた確かな対応を取ることができる。
- ③高度な臨床スキルと臨床研究の視点を備えている。

〈リハビリテーション学専攻言語聴覚学課程〉

修了に必要な単位を修得し、専攻がめざす以下の資質を備えた学生に修了を認める。

- ①臨床に根ざした対象者本位のセラピストになる視点を備えている。
- ②専門的な知識と技術を身につけようとする姿勢を持っている。
- ③自己学習能力の向上と課題指向型パターンの実践力が身に付いている。

そして必要とされる能力を身につけるための教育課程は専攻ごとにカリキュラムポリシーにより編成・実施され、その教育における学習成果についても明確に定めている。

〔こども教育専攻〕

学位授与の方針と関係法令に則り、以下の4つの目的のいずれかに沿って体系的に教育課程を編成している。

- ①職業的使命感・倫理観を培う。
- ②公平・不偏なものを見方を身につける。
- ③コミュニケーション能力を高める。
- ④保育、幼児教育に関する専門的知識と状況判断力を身につける。

〔看護学専攻〕

学位授与の方針と関係法令に則り、以下の4つの目的のいずれかに沿って体系的に教育課程を編成している。

- ①人間性と奉仕の精神を高める。
- ②社会と他人に対するグローバルな視野を獲得する。
- ③コミュニケーション能力とリーダーシップを高める。
- ④看護に関する高度な専門的知識と論理的思考を学ぶ。

〔リハビリテーション学専攻〕

学位授与の方針と関係法令に則り、以下の4つの目的のいずれかに沿って体系的に教育課程を編成している。

- ①人間に対する理解を深め、他者への思いやりを涵養する。
- ②周囲や環境に対する鋭い洞察力と広い視野を獲得する。
- ③周囲の人間と協力し合うことができる能力と姿勢を養う。
- ④リハビリテーションに関する高度な知識、技術と態度を修得する。

〔専攻科〕

〈地域看護学専攻〉

修了認定の方針と関係法令に則り、以下の3つの目的のいずれかに沿って体系的に教育課程を編成している。

- ①保健師としての実践能力と論理的思考を養成する。
- ②行政・産業・学校等、幅広いフィールドにおいて、人々と良好なパートナーシップを築く。
- ③自ら保健活動を創出できる。

〈助産学専攻〉

修了認定の方針と関係法令に則り、以下の2つの目的のいずれかに沿って体系的に教育課程を編成している。

- ①助産学に関する知識と技能を主体的、研究的に学習する態度及び能力を養成する。
- ②感受性を高め、豊かな教養と人間性を備える。

〈リハビリテーション学専攻〉

修了認定の方針と関係法令に則り、以下の目的に沿って体系的に教育課程を編成している。

- ①理学療法士、作業療法士、や言語聴覚士として、科学的根拠に基づいた治療ができる。

次に、白鳳短期大学学則第38条（卒業及び学位の授与）により、こども教育専攻に2年以上、看護学専攻に3年以上、リハビリテーション学専攻理学療法課程または作業療法課程に3年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した者に対して、大学協議会の議を経て学長が卒業を認定する。

また、白鳳短期大学学則第47条（修了）により、専攻科に1年以上在籍し、修了に必要な所定の履修単位以上を修得した者については、大学協議会の議を経て学長が修了を認定する。